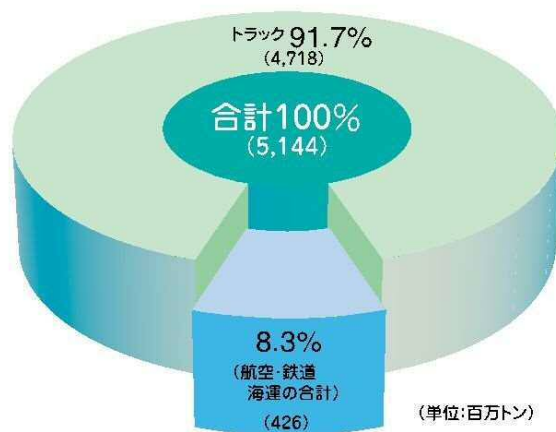


# 1.トラックドライバーとしての基本的な心構え

## (1) トラック輸送の社会的重要性

今日の国内経済は、資源や原料、製品などの物流なくして成り立ちません。輸送形態には航空、鉄道、海運など様々ありますが、この物流のなかで大きな比重を占めているのが、トラック輸送です。国内輸送の約9割は、トラック輸送が担っており、物流の主役であるといえます。物流を支える事業用トラックは、日本経済を支えているといっても過言ではなく、重要な社会的役割を担っています。

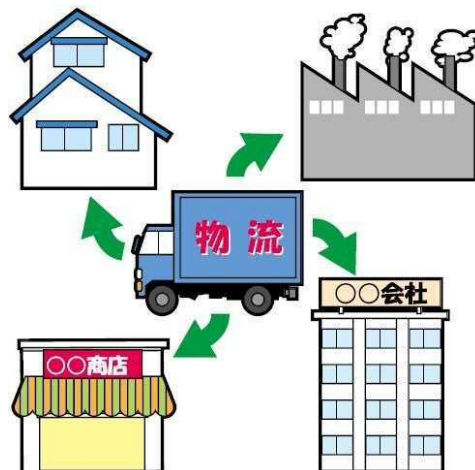
トン数の輸送機関別分担率



## (2) 物流を支えるプロドライバー

物流の主役が事業用トラックであるという事は、物流を支えているのは、事業用トラックを日々運転しているプロドライバーが主役だといえます。円滑な物流が日本経済の大きな基盤になっていることを考えれば、それを担っているプロドライバーはまさに、現在の日本経済を背後から支えている存在だといえるでしょう。

この点を認識し、プロドライバーとしての誇りを持つとともに、貨物を安全・安心・確実に輸送するという役割と使命をしっかりと理解しましょう。



### (3) ライフラインを守るプロドライバー

物流は、電気、ガス、水道などと同じく、ライフラインの一つです。

そのため、トラック運送業界は、地震などの自然災害が発生した緊急時には、国や地方自治体と連携して、緊急・支援物資輸送を優先かつ迅速に行っています。

このようにプロドライバーは、人々の生活に欠かすことのできないライフラインを守ることもにも大きな力を発揮しています。



### (4) トラック事故の重大さを認識する

貨物を安全・安心・確実に輸送しライフラインを守っていくためには、交通事故を起こさないということが第一条件となります。交通事故は尊い人の命を奪ったり人を傷つけたりするだけでなく、安全・安心・確実に輸送するという役割も果たすことが出来なくなります。

トラックは車体が大きく重いため、いったん事故を起こすと規模の大きな重大事故につながりかねません。そのため事故によっては被害者が不幸な目にあうだけでなく、ドライバー自身も職業運転者としての地位を失うばかりか会社も経営が悪化するなど家族や会社を巻き込んで、さまざまな不幸な事態を招くことを認識しなければなりません。さらに事故による渋滞や通行止めなどの社会的な影響も大きなものがあります。



## (5) 交通事故を起こさないという信念を持つ

交通事故は、会社にも大きな損害をもたらします。トラック事故が多発すると、運送業界全体のイメージの低下にもつながり、トラックの重要な役割より、危険な業種というレッテルが張られる恐れさえあります。

事業用トラックのドライバーは、職業としてトラックを運転しているプロドライバーです。したがって、トラックを運転することによって、自分の生活も支えているわけですから、公共の道路を使わせてもらっているという感謝の気持ちを常に忘れることなく、事故を起こしてはならないという強い信念のもとにハンドルを握る必要があります。



## 2. トラックドライバーが身につけるべき心得

### 環境に配慮した運転

#### ・環境への影響

トラック輸送は、日常生活や社会・経済活動に欠かせないものですが、その一方で、排出ガスによる大気汚染や地球温暖化などの環境問題も発生しています。

ディーゼルトラックに関係する大気汚染物質としては、窒素酸化物、粒子状物質、硫黄酸化物、一酸化炭素、炭化水素などありますが、なかでも粒子状物質（PM）は、人の健康に直接悪影響を与えるといわれており、この対策が急がれています。

また、地球温暖化の原因となる二酸化炭素も排出されています。

こうした大気汚染防止や省エネルギーの観点に立ち、環境に配慮した運転や整備、点検を心掛けていくこともプロドライバーの重要な使命です。そのためには、一人一人のドライバーが普段から「エコドライブ」を実践することが大切です。

#### ・エコドライブの効果

「エコドライブ」は、環境保全のために必要なだけでなく、交通事故の防止

や運行経費の節減などさまざまな効果をもたらします。特に「アイドリングストップ」は、エコドライブの中心となるものですから、荷降ろしなどの駐停車時には、こまめにエンジンを切るようにしましょう。



# トラックの安全運行のために 遵守すべき基本的事項

## 乗務員の遵守事項

酒気を帯びて乗務しない。



過積載をした車両に乗務しない。

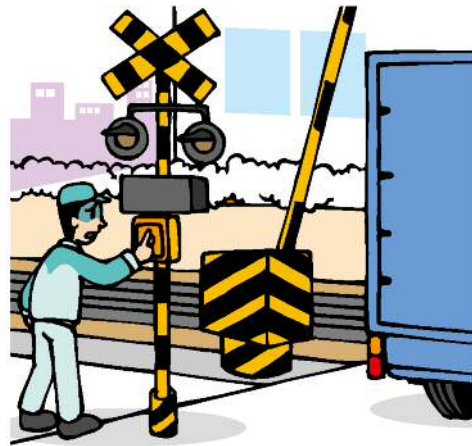




偏荷重が生じないように積載するとともに、荷崩れ等を防止するためロープやシート掛けなどの措置をとる。



踏切内で運行不能となったときは、速やかに列車に対して適切な防護措置をとる。



疾病、過労等により安全な運転ができないおそれがあるときは申し出る

日常点検を実施し、またはその確認をする

乗務の開始前および乗務終了時には点呼を受け報告をする

運行指示書を乗務中携帯する

**守る!**



乗務終了後に他の運転者と交替するときは、自動車、道路、運行の状況について通告する

※他の運転者と交替して乗務するときは、上記の通告を受け、ハンドルやブレーキ等の重要な装置の機能を点検する

乗務記録を行う

踏切を通過するときは変速装置を操作しない

## 運転マナーの大切さ

### ① マナーの悪い運転は業界のイメージダウンにつながる



物流という重要な役割を担って事業用トラックを運転しているプロドライバーは、他車の手本となるべき安全でマナーの良い運転を心がけなければなりません。

一般の乗用車からみれば、車体の大きいトラックが近くを走っているだけで恐く感じるものです。「幅寄せ」や「あおり」などは絶対してはいけない行為です。

### ② トラックは「走る広告塔」



トラックには、会社や荷主の名前、トレードマークや商品名が大きく書かれて、いわば「走る広告塔」といえます。現実には多くの人々がそれに目をとめることにより、宣伝効果の役割をはたしています。また同時に、他車への気遣い、不安感を与えないという社会的義務と責任を負っているのです。

プロドライバーは、他車のドライバーの手本とならなくてはなりません。それだけの誇りを持って周囲から「さすが」をいわれる運転マナーを身につけ、実践することが必要です。

③ マナーの悪い運転は絶対にしない  
(苦情が寄せられている)



- ・我が物顔で走るトラックが不愉快!
- ・運転席が高いから偉いと思っているのでは?
- ・プロドライバーとしての自覚を持て!
- ・環境に配慮して欲しい!



## 運転マナーの基本

① 思いやりと譲り合いの気持ち



② おごりの意識を捨てる





3 過信をしない



4 油断をしない



5 「急ぎ」や「あせり」をおさえる



6 「カッカ」したり「カリカリ」しない

